

6/6 25日

秦野・八国見山の昆虫や植物 ビデオに

映像で「自然の宝庫守れ」

二宮町に住むアマチュア昆虫写真・ビデオ撮影家の御法川直樹さん(54)と写真家Ⅱが、大規模な霊園開発が計画される秦野市沢沢の八国見山(319m)に生息する昆虫や貴重な植物などをビデオ映像に収録した。東京都千代田区平河町の都市センターホテルで7日に



開かれるNPO日本高山植物保護協会(甲府市、白旗史朗会長)定例総会の記念講演で10分間の映像を上映し、生物多様性の保全を訴える。【高橋和夫】

二宮の愛好家 御法川さん

御法川さんはツシミ、村光吉さんを手伝いなチョウ類が専門の昆虫からビデオ撮影を続愛好家。山梨県富士河口湖町の三ツ峠山で、どこで作品を発表してき自生するラン科アツモリソウの保護に取り組む三ツ峠山荘経営の中

オムラサキの県内最大、自宅に近く、国蝶オムラサキの県内最大

大規模霊園開発に疑問

協賛保護植物山総会

級の繁殖地で貴重な動植物が生息する八国見山周辺は、昆虫類の撮影に絶好のフィールド。八国見山南面の中村川源流域での霊園(広さ約19・8畝)建設計画に危機感を抱いて、2012年秋ごろから計画地を中心にビデオ撮影を続けてきた。

今回の発表する映像は「遠い祖先からの預かりもの」タイトルで、生物多様性の保全に軸足を置いた。オムラサキや八国見山周辺での固有種とみられるカンアオイ属のナカイカ

後世に引き継ぐべき自然の宝庫をつぶすこととは、あってはならない」と話している。